

見込みである。  
**問** 班長や部長経験者が一般団員に戻った場合、その支給額は、  
**答** これまでの最高階級での支給となる。



● **高山市火災予防条例の一部を改正する条例**

**問** 該当する催しはあるのか。

**答** 市において露店数が100を超える催しは春・秋の高山祭及び二十四日市がある。高山祭は主催者が露店の出店を認めておらず、管理もしていない。

また、二十四日市は主催者が特定できない状況にある。いずれも100店舗を超えているが、今回の改正においては『主催する者が出店を認める露店等』に限定していることから、高山祭等は指定の該当とならない。

**問** 該当しない催しにおける市民の安全を守ることにしているのか。  
**答** 主催者、露店組合、商店街、町内会等の関係者には安全に催しを開催する社会的責任を果たす必要があると考えているため、関係機関と調整しながら、催しの関係者で構成する実行委員会設立の協議を進めていきたい。

**問** 町内会等の催しで火気器具を使用する場合があるが、今回の改正により、消火器を準備しなければならないのか。また、その周知方法は。  
**答** 8月1日からの施行となるが町内会等の催しも対象となる。ある程度催しを把握しているため、町内会への説明や現地立会いの上、確認作業を行う予定である。

● **財産の取得（水槽付消防ポンプ自動車・高規格救急車）**

**問** 入札の状況は。

**答** 今回の入札は指名競争入札で行い、市内に本店支店があることを要件とした。水槽付消防ポンプ自動車では12社を指名し4社が応札、高規格救急車では14社を指名し2社が応札した。救命処置用資器材では11社を指名し3社が応札した。

● **予算決算特別委員会 平成26年度高山市一般会計補正予算（第1号）**



購入される同型的水槽付消防ポンプ自動車

**問** ビッグアリーナは指定避難所になることから、自家発電設備も設置されているが、今回設置される太陽光パネルと蓄電設備との関係は。  
**答** ビッグアリーナに設置されている自家発電設備の能力は大きいので、重油燃料によるものがあるため、実際に災害が起きたときの燃料の確保が懸念されることから、非常用の電源をハイブリット化し、二重に非常用電源を確保していくという趣旨である。



ビッグアリーナ

● **総務厚生委員会報告**

**問** 定避難所になることから、自家発電設備も設置されているが、今回設置される太陽光パネルと蓄電設備との関係は。  
**答** ビッグアリーナに設置されている自家発電設備の能力は大きいので、重油燃料によるものがあるため、実際に災害が起きたときの燃料の確保が懸念されることから、非常用の電源をハイブリット化し、二重に非常用電源を確保していくという趣旨である。

業の趣旨については十分説明している。  
**問** 老人福祉施設整備に係る助成金は小規模多機能型が3施設、特養が1施設であるが、特養についてはいくらとなつているのか。  
**答** 開設準備費の補助として、定員が80名で、1名あたり60万円として、4,800万円の助成となつている。

● **6月20日 本会議**

**問** 特養の増設目的は待機者を解消するためである。入所ルールが課題であると考えますが、ルールに対する考えは。  
**答** 入所者の決定のルールについては事業者を決定する際に、申し込みの順番のみでなく、必要度の高い方からの入所決定について申し入れしているところである。今後事業者とも調整しながら、市として十分意見を言えるようにはしていきたい。

● **議員発議**

について委員長報告後、議第56号については討論のあと採決により賛成多数で、また、議第57号については全員一致で可決しました。  
● **基盤環境委員会報告**

議第58号から62号については委員長報告後、全員一致で可決しました。  
● **予算決算特別委員会報告**

議案第63号については委員長報告後、全員一致で可決しました。  
● **議第64号〜66号**

● **議第64号〜66号**